



学校だより

後川

No. 34

令和2年1月16日(木)発行
四万十市立後川中学校

地域と共に…学校支援地域本部事業

今年度もあらゆる場面で地域の方のご支援・ご協力をいただきました。総合的な学習の時間においては「地域のもの・ひと・こと」との関わりを大切に各学年の課題に応じて地域の様々な方のご支援やご協力の機会を得ました。心より感謝申し上げます。

今回、中学1年生の理科の授業の学習支援として板の川にお住まいの弘畑佳之さん(前 宿毛市立東中学校 校長先生)にご協力をお願いしたところ、快く引き受けて下さいました。先日(10日)、これまで研究されている堆積岩や地層に関する分野についての授業において支援をしていただきました。実際、校区にある地層を観察して地層のでき方を学びました。



いろいろ学習して私が今まで知らなかったこと、気づかなかったことを知ることができて楽しかったです！小学校の時に学んだことも生かすことができよかったです。これまで石を気にかけて見たことがなかったので、石の名前を知り、たくさん見つけることができました。



石灰岩は塩酸をかけると二酸化炭素がでることを初めて知りました。学校の外に出て、石灰岩を取りに行ったり化石を見つけに行けて良かったです。いろいろな石の特徴や四万十川の特徴も学ぶことができました。

「タイアシラの化石」

校長室前に置いていますが、見たことありますか？



佐田には石灰岩があります。その石灰岩の中にはタイアシラといわれる大型の二枚貝の化石やスルプラといわれる多毛類の化石が含まれています。

この化石は平成2年頃、利岡保育所西側の山の急傾斜工事をしているときに出てきたそうです。大昔、この付近(利岡、佐田)は海の底だったことがわかりますね。